社会医療法人　禎心会　札幌禎心会病院

管理番号	160
がん腫	大腸
レジメン名	mFOLFOXIRI＋B-mab
1 コース日数	14 日
催吐性リスク分類	高度

催吐性リスク分類	使用制吐剤
高度	Day1：ホスアプレピタント注 150mg＋パロノセトロン注 0.75mg+デキサメタゾン注 9.9mg Day2-3：デキサメタゾン錠 4mg2 錠 2×朝昼食後
中等度	Day1：パロノセトロン注 0.75mg +デキサメタゾン注 6.6mg　Day2-3：デキサメタゾン錠 4mg2 錠 2×朝昼食後
軽度	Day1：デキサメタゾン注 6.6mg
最小度	なし

・治療スケジュール

薬剤名	投与量	投与時間	日数																				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14							
制吐剤(iv.)		30 分	↓																				
ベバシズマブ	5mg/kg	90 分	↓																				
イリノテカン	150mg/㎡	60 分	↓																				
オキサリプラチン	85 mg/㎡	120 分	↓																				
レボホリナート	200mg/㎡		↓																				
フルオロウラシル	2400mg/㎡	46 時間	↓																				

・備考

アプレピタントは内服薬を使用。
デキサメタゾン錠は Day4 まで内服。
ベバシズマブの投与時間：初回 90 分、忍容性があれば 2 回目 60 分、3 回目以降 30 分で投与可。

作成日：2020.07.17